

第6次ニセコ町総合計画(案)についての意見募集結果

令和6年2月27日

第6次ニセコ町総合計画(案)について、まちづくり基本条例に基づき、ご意見を募集したところ、以下のとおりご意見が寄せられました。
ご意見の要旨及びご意見に対する町の考え方については、次のとおりです。

意見の概要(一部を抜粋しています)	意見に対する町の考え方
<p>1. 全体 理念やビジョンを行政と町民が共有して同じ方向に向かうことは大変重要で、過去の総合計画から一貫して町民の求めるものは殆ど変わっていないことが裏付けられたと思います。 但し、豊かで美しい自然環境を後世に残していく想いはより強くなった印象があり、裏を返せば、この12年で乱開発が進み、自然が損なわれているということで、その対応が不十分だったということ。 あるべき姿とアンケートからビジョンを策定していますが、こうした、過去の振り返り・現状把握がなく、また定量目標がないため、PDCAが回っておらず、計画がスパイラルアップしていません。第5次の審議会でも数値目標が必要との意見が出ていましたが、反映されませんでした。 PDCAを回すためには、適切なKPIと数値目標、日程が必須です。アンケート評価だけでは、客観的なスパイラルアップは困難です。 民間企業で一般的に行われる問題解決・計画策定プロセスを(略)行うことで、リソースの重点投入が出来ます。 職員の負荷を減らし、税金も効果的に使うことが出来ます。 現計画では、非常に多くの関連条例や計画を紐づけています。沢山紐づけることでしっかりやっているように考えるのは、時代遅れのマネジメントです。選択と集中をしなければ、民間企業は潰れる時代です。</p>	<p>数値目標、KPI、スケジュールは、総合計画ではなく、個別計画で扱うものと考えます。 選択と集中に関しては、毎年評価する中でニーズが生じた場合には、4年の一度の見直しの際に施策を見直します。</p>
<p>2. 全体 個別計画は、各課で立案されたものが紐づいていますが、今日の課題は複雑化し、多角的な視点での包括的な対策とバランス取りが必須です。総合計画だからこそ、包括的な取り組み方を規定すべきです。これも縦割り行政の慣習から脱却をしないと、「具体性が薄く、実効が伴わない計画ばかり」という町民の受け取り感覚とで大きな隔たりが続きます。</p>	<p>横の連携はとても大事だと考えます。今後の町政の参考とします。</p>
<p>3. 現状把握(重要課題) (1) 人手不足 安心・安全の暮らしやすさの章では、この課題把握が不十分で、転出理由等の原因調査も不十分ではないでしょうか？ そうした分析なしに、漠然とした「事業者支援」といった施策では、負のサイクルになって深刻な状況になり兼ねないと考えます。</p>	<p>今後の町政の参考とします。</p>
<p>(2) 子育て支援 個別施策は、やれることを書いているように感じます。ニセコならではの自然体験というのも、イベント的なものではなく、日々の暮らしに根差したものを充実して欲しいと思います。教育に関しては、教育プログラム以上に、信頼できる大人が背中を見せることが大事だと思います。この総合計画が、カッコいい言葉で終わるのではなく、重要なことはやり切る。そうしたところから教育は始まると思います。</p>	<p>ご意見を関係課に共有し、今後の町政の参考とします。</p>
<p>(3) ニセコの経済を循環させる 過去の町民講座では、化石燃料費として町外へ出ていくお金を食い止めることが最重要で、そして観光では稼げていないことが、データを基に示されていると認識しています。それなのに、「町外から外貨を獲得し、雇用や所得を通じて町内に還元していきます。」という方針が真っ先にくるのは、違和感はありません。脱炭素と併せて、エネルギーの地産地消と化石燃料使用を抑えるまちづくり(コンパクトシティや町内で日々の暮らしの買い物が充足できる)ことが、一丁目一番地ではないでしょうか？</p>	<p>文章の順番を入れ替え、「町内で消費する財を町内で生産し、所得の流出を少なくします。また、ニセコ町にある資源を活用して価値の高い……町内に還元していきます。」とします。</p>
<p>(4) ニセコの自然環境を守る&ゼロカーボンの取組推進 ゼロカーボンの取組みは、世界的には最重要課題です。本当に求められている目標も示し、現状では達成困難であることを示すことで、行政だけでなく温度差のある住民意識を更に高めていくことも、大事なリーダーシップだと考えます。やれそうな目標で辻褄を合わせるより、将来世代に対する、責任ある行動だと思えます。</p>	<p>ご意見を関係課に共有し、今後の町政の参考とします。</p>
<p>(5) オーバーツーリズム ~経済循環と安心安全の暮らし に関連 身の丈に合った開発への総量規制、物価高騰対策、人手不足対策、交通インフラの整備、バブルが弾けた後も想定した観光以外の施策等、複合的な施策が必要だと考えます。</p>	<p>ご意見を関係課に共有し、今後の町政の参考とします。</p>
<p>多角的な検討が必要なものが多く、簡単な課題ではないので、課をまたいだメンバーに住民や有識者を加えた検討チームを立ち上げることを提案します。</p>	<p>横の連携はとても大事だと考えます。今後の町政の参考とします。</p>

意見の概要(一部を抜粋しています)	意見に対する町の考え方
<p>p6「人口の動向」 下から4行目と3行目の間に「ニセコ町への転出入の近年の動向を見ると0～9歳及び25～64歳の転入が多く若年・子育て世帯などの転入が一定程度ある一方で、65歳以上の高齢者の転出が多くなっています。」を加筆する。</p>	<p>近年の傾向はご指摘の通りですが、ニセコ町の推計も、社人研の推計も、今後は0～9歳及び25～64歳の人口が減少し、65歳以上の高齢者が増加します。グラフの説明とあわないため、加筆は見送らせていただきます。</p>
<p>下から2行目 「子どもや子育て世代が住み続けたい、暮らしたいと思える…」家→「子どもや子育て世代から高齢者までが住み続けたい、暮らしたいと思える…」に</p>	<p>そのように加筆します。</p>
<p>p7「(4)産業」 下から7行目「ニセコ町の一戸あたりの農地面積は拡大していますが、…」→「ニセコ町の農家戸数が減るもとで一戸あたりの農地面積は拡大していますが、…」</p>	<p>「ニセコ町の農家戸数が減る一方で、」と加筆します。</p>
<p>p25 シビックプライドを育む新しいニセコ高校の改革 取組例 「地域の魅力や課題を知り、主体的に…」→「地域の歴史や魅力、課題を知り、主体的に…」</p>	<p>そのように加筆します。</p>
<p>p29 地域公共交通の充実 「ニセコ町民や来訪者が町内移動を快適にできるように」→「ニセコ町民や来訪者が町内外の移動を快適にできるように」</p>	<p>そのように加筆します。</p>
<p>p31 多文化共生社会の形成 基本方針 「国籍を問わず文化や習慣の違いを認め合い、…」→「国籍を問わず歴史や文化、習慣の違いを認め合い、…」</p>	<p>そのように加筆します。</p>
<p>②資料編への掲載図表 ・ニセコ町の全体地図(各種公共施設・インフラ施設、SDGs新街区、道路、鉄道(新幹線ルート、後志自動車道計画ルート)を記入した地図) 【ニセコ町住生活基本計画】から p12 図 2-14 地区別人口の比較 p14 g. 転入・転出者数 図 2-17 2015(平成27)年から2020(令和2)年の年代別転出入状況 p18 j. 家族類型別世帯数 図 2-26 家族類型別世帯構成比の推移 【ニセコ町地域公共交通計画(素案)令和6年3月】から 図 2.4 現状の250mメッシュ人口分布(R2.10_国勢調査) 図 2.6 現状の250mメッシュ高齢化率分布(R2.10_国勢調査) 【数字で見るニセコ ニセコ町統計資料2023年5月】から p8 地目別土地面積・総面積(2022(令和4)年度固定資産概要調査) 地目別面積比率(2022(令和4)年度固定資産概要調査) p13 農家数の推移(世界農林業センサス)</p>	<p>個別計画で掲載している図表なので、掲載はしませんが、HPに総合計画を掲載する際に、「住生活基本計画」「地域公共交通計画」「数字でみるニセコ」を総合計画のすぐ下にリンクするようにします。</p>
<p>③その他 ・「序章」の中扉とp20に「双子のさくらんぼの木」の写真が使われています。中扉の写真(A)とp20の写真(B)は撮影年代が明らかに違い、Aの方は近年のかなり高齢化が進んだ状態で右の木には支えがされています。Bのような桜が満開の状況を今では見れないのではないかと思います。それぞれ他の写真に変えてはどうでしょうか。(【町の木】【町の花】【町の鳥】【ニセコ町イメージキャラクター】もあります。)</p>	<p>「基本理念」のページに掲載した過去の「双子のさくらんぼの木」の写真掲載は見送り、スペースと内容の関係から「町の花」「町の鳥」掲載は見送ります。「町の木」は「計画策定にあたって」に掲載しています。</p>
<p>・グラフの体裁がまちまちです。元資料のものをそのまま掲載したものと見られますが、統一デザインにしてはどうでしょうか。資料編に載せるグラフ等は出典を明示してそのままでもいいと思います。</p>	<p>統一デザインにします。</p>